

【マテリアリティ(優先課題)】

当社は、企業価値の向上と持続可能な社会の発展に向けて、サステナビリティ基本方針に基づいた取り組むべき10項目のマテリアリティ(優先課題)を特定いたしました。これらは、当社のサステナビリティ経営を推進する上で重要な課題と位置づけ、社会的要請や環境変化を踏まえながら、引き続き取り組みを進めてまいります。

	優先課題	指標	具体的な活動内容	2025年度目標	2025年度(実績値)
※1 環境 (E)	環境負荷低減に資する高付加価値製品の市場開拓	市場投入比率	長寿命・高精度金型を提案し、材料ロス削減・生産効率向上等による環境負荷低減に貢献	16.5%	16.6%
		開発件数	高度な素材技術および加工技術を活かし、環境負荷低減に貢献する高付加価値製品の開発	—※3	13件
	カーボンニュートラルへの取り組み	温室効果ガス排出量	省エネルギー設備等の導入の検討	38%削減※4	24%削減 (2018年度比)
			再生可能エネルギー利用の検討		
	省資源化への取り組み	超硬原材料リサイクル率	超硬原材料のリサイクル率向上	9.9%	10.8%
		市場投入金額	省タングステン合金の市場展開	31百万円	32百万円
	廃棄物のリサイクル率	廃棄物削減、リサイクル率向上	2%改善	4.9%改善	
※1 社会 (S)	人権の尊重	RMI※2認定製錬所・精製所総数およびその比率	紛争鉱物調査の管理	100%	100%(41/41カ所)
		人権教育実施件数	全従業員に対して、ハラスメント防止を含む人権教育および研修を継続的に実施	5件	5件 ・ハラスメント研修(4件):延べ3,284名 ・管理職ハラスメント研修:320名
	労働環境の整備	作業環境管理区分Iの測定箇所の比率	作業環境測定の実施	100%	100%(46/46カ所)
		労働災害件数	①安全管理水準の向上 安全教育の充実、危険予知活動の活性化 ②安全対策の強化 リスクアセスメントの強化、リスク低減施策の水平展開	休業災害:0件	休業災害:2件
				不労災害:0件	不労災害:7件
		ストレスチェック実施率	従業員の健康管理(ストレスチェック、健康増進プログラムの実施等)	100%	98.9%
	健康診断の受診率	生活習慣病健診、人間ドック、特定化学物質健診	100%	100%	
	多様性を活かした働き方改革	男性従業員の育児休業取得率	多様なライフスタイルに応じた社内制度の充実	85%以上※5	100%
		女性管理職の比率	女性活躍推進の取り組みの強化	8.0%以上※6	5.9%
		女性採用比率		20%以上	20%
従業員との良好な関係性の確保	研修実施時間	公平な人材育成機会の提供(自立型人材の育成)および経営理念、経営方針等の共有	26,000時間 (31.7時間/人)	25,114時間 (30.6時間/人)	
	エンゲージメントスコア	エンゲージメントサーベイで課題を抽出し、スコア向上施策を実施	—※3	67.5pt	
	入社3年後離職率	オンボーディング施策やメンター制度を実施	30%以内	23.8%	
※1 ガバナンス (G)	ガバナンスの強化	コンプライアンス、リスクマネジメント委員会開催数	コンプライアンス、リスクマネジメント活動の推進と情報共有	4回	4回
		サステナビリティ委員会開催数	サステナビリティ経営の推進と情報共有	4回	4回
	危機管理対応の強化	知的財産教育の実施件数	知的財産基本方針に則った取り組みの強化(保有する特許や技術、ノウハウなどの保護や流出防止等)	4件	4件 ・知的財産に関する営業向け勉強会(2件):216名 ・契約に関する勉強会:5名 ・商標に関する説明会:627名
		情報セキュリティ教育実施件数	情報セキュリティ教育の実施	2件	2件 ・情報セキュリティ教育:1,684名
コンプライアンス体制及び教育の充実	コンプライアンス教育実施件数	コンプライアンス教育の実施	5件	5件 ・コンプライアンス教育(4件):延べ3,543名 ・取適法教育:21名	

当社の非財務情報に関する対応状況の変化に伴い、実効性の高い取り組みを推進するため、一部のマテリアリティおよび指標、具体的な活動内容を見直しております。

※1 環境…自然環境配慮、社会…人権 / 労働環境、ガバナンス…ガバナンス強化 / 腐敗防止

※2 RMI(Responsible Minerals Initiative):紛争非関与鉱物など責任ある調達を企業と連携して促進する国際団体。

※3 2025年度に新たに掲げた項目のため、目標値は未設定。

※4 2030年度に2018年度比で38%削減。

※5 2030年度までに85%以上。

※6 2028年度までに8.0%以上。